

新クラフト産業・ デザイン育成支援事業

高岡市デザイン・工芸センター
TAKAOKA CRAFT & DESIGN CENTER

New craft industry/design development project



本事業では、高岡の伝統工芸産業の振興策として、地元産業界と共同で市場競争力を持つ産地ブランド製品開発プロジェクトを平成11年より実施しています。これまでのべ300社以上が参加しており、新分野開拓を実現した成功企業を輩出しています。

地場企業のデザイン商品開発と市場開拓における「自活力」を育成するため、参加者自らデザインや製品開発に取り組み、当センターが適宜テーマを設定し、参加企業を募ることで産官協働で実施しています。



参加企業と一緒に、議論や試作を重ねプロジェクトを進めていきます。

近年のプロジェクト



課題のデザイン<第1期>
「課題のデザイン展」会期:平成31年3月16日(土)~25日(月)、
会場:NOUSAKU CUBE



課題のデザイン<第2期>
「課題のデザイン展2」会期:令和3年2月18日(木)~3月23日(火)、会場:ZIBA 高岡地域地場産業センター

監修者

安次富 隆

ASHITOMI TAKASHI

プロダクトデザイナー
多摩美術大学教授



1959年沖縄県生まれ、85年多摩美術大学プロダクトデザイン専修卒業、同年ソニーデザインセンター入社、91年ザートデザインを設立。2008年多摩美術大学プロダクトデザイン教授。2020~22年度グッドデザイン審査委員長。プロダクトデザインの枠にとどまらず、地場産業開発、デザイン教育、デザイン評価など幅広く活動しており、「ハイヒル HiHill」(グッドデザイン・日本商工会議所会頭賞)以降の高岡市デザイン・工芸センターの新クラフト産業・デザイン育成事業のプロデュース、監修に携わる。その他、栃木県の伝統産業振興プロジェクト「U」、新潟県「百年物語 MyTool」、墨田区「すみだ地域ブランド戦略」のデザインディレクションなど、地場産業・地域ブランドのプロデュース・ディレクションを数多く手がける。



課題のデザイン<第3期>
「課題のストア」会期:令和5年2月23日(木・祝)~26日(日)、会場:博選堂 FUTATABI、会期中にオープン研究会「課題のデザイン@LIVE」を開催。

経 緯

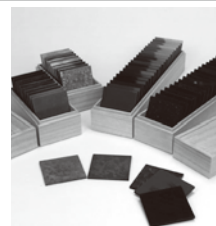
●鉛レス合金開発研究会 H 11

平成 11 年度に開設した高岡市デザイン・工芸センターの鑄造設備で、環境に配慮した鉛レス銅合金の研究開発に取り組む。参加 14 社。

●HiHill ハイヒル H 12～15

平成12年度に、銅器関係企業有志による新商品開発会議を設け、プロダクトデザイナーやデザインプロデューサーを招聘して鉛レス素材を用いた金属製食器の開発を実施。ブランドマークを「HiHill (ハイヒル)＝高岡」とする。平成 14 年度、銅器・漆器関係企業 10 社による研究会を組織で表面処理素材を高岡の新ブランド「HiHill」としてリビングセンター OZONE (東京) にて発表。平成 15 年度研究会参加の 21 事業者 (個人・企業) により、「有限会社ハイヒル」を 10 月に設立。首都圏での受注体制の整備を図った。

※平成 16 年 10 月、ハイヒルプロジェクトの地場活性化の新しい仕組みづくりが評価され、2004 年グッドデザイン賞特別賞受賞



HiHill
TAKAOKA PRODUCTS

●うるおし H 16～18

平成 16 年度、漆の弱点を克服するため、耐熱・耐候性漆や塗料の塗膜実験等を行い、高付加価値製品への展開の可能性を探った。平成 17 年度は、漆の水廻り製品開発や漆看板の試作を実施。平成 18 年度、漆の水廻り製品開発では、市内漆器関連 9 社が参加。3 人の女性クラフト作家と職人とのコラボレーションによる「うるおし」が誕生した。



うるおし
TAKAOKA PRODUCTS

●いのり・いわい H 19～21

平成 19 年度、これまでの宗教用具にとらわれない、新しい価値を持つ「いのり」に関する商品開発と産地プロデューサーの育成を目指した。平成 20 年度には「フォトフレーム」を開発商品とし、平成 21 年 2 月「いのり」ブランド 13 種 36 点を「東京インターナショナルギフトショー春 2009」で発表。平成 21 年度には祈り祝いをテーマに商品開発に取り組む。平成 22 年 2 月「いのり・いわい」ブランドとして、新仏具や冠婚葬祭関連商品 17 種 39 点を「東京インターナショナルギフトショー春 2010」で発表。



いのり
TAKAOKA PRODUCTS

●udeco ユデコ H 22～25

平成 22 年度に、ユニバーサルデザイン (UD)、エコロジカル (ECO) デザインの領域をターゲットにした「udeco (ユデコ) プロジェクト」を開始。成長産業として注目される福祉・介護・エコロジー等の分野に着目し、「使う人と地球にやさしい」をテーマにした新商品開発に取り組む。参加 14 社。



udeco
TAKAOKA PRODUCTS

●Z A I -GIFT FROM TAKAOKA- H 26～28

平成 26 年度は、北陸新幹線開業 (平成 27 年 3 月) を期に、高岡特有の素材 [ZAI] を活かし、地域の魅力を伝える「コミュニケーションギフト」の開発に取り組む。平成 28 年度には、10 商品を「ギフトショー春 2017 LIFE×DESIGN」に出展。参加 11 社 13 名。



Z A I
GIFT FROM TAKAOKA

●課題のデザイン<第 1 期> H 29、30

平成 29 年度は、伝統産業界から課題 (ニーズ、シーズ) を持った企業を募集し、10 件の課題解決のためのデザイン・製品試作に取り組んだ。平成 30 年度は、13 社 14 名がデザイン・製品試作を進め、10 月に試験販売、3 月に展示発表を実施。11 種を製品化した。

●課題のデザイン<第 2 期> R1 (H31)、R2

令和元年度は、11 社 13 名参加。令和 2 年度は、12 社 13 名が、令和 2 年 10 月に移転オープンした高岡地域地場産業センター (愛称 ZIBA (ジーバ)) で 2～3 月に展示発表を実施。

●課題のデザイン<第 3 期> R3、R4

令和 3 年度は、13 社 15 名参加。令和 4 年度、13 社 14 名がデザイン、試作を進め、令和 5 年 2 月に博選堂 FUTATABI (高岡市金屋町) で成果展示会「課題のストア」を開催。また、研究会参加者と監修の安次富隆氏によるトークイベント (オープン研究会「課題のデザイン @LIVE」) を同会場にて開催し、オンライン配信を行った。



「課題」
の
デ
ザ
イ
ン

●新クラフト Labo<第 1 期> R5～

これからの伝統産業のものづくりは、産地の人材がデザイン開発力を身につけ、作り手自らがデザイナーとなる自活力、企業同士の連携・協働、新しい挑戦がますます必要になる。こうした取り組みの場を「新クラフト Labo (ラボ)」として、ものづくりだけではなくサービス、仕組みづくりも含めた研究を進めていく。参加 15 社 16 名。

新クラフト産業・デザイン育成支援事業については以下のホームページをご覧ください。
<https://suncenter.co.jp/takaoka/new-craft/>



高岡市デザイン・工芸センターについて

高岡市デザイン・工芸センターは「新クラフト産業・デザインの育成」「伝統工芸の保存・継承」「デザイン・工芸の啓発・普及」を活動の柱としています。高岡の伝統工芸を継承しながら、新しいクラフト製品の開発や素材・技術の研究開発に取り組むことでデザイン・工芸の振興を図ります。



1F 金工工房、鑄造場 (ガス式溶解炉、プラスターなど)
2F 漆工工房 (漆乾燥風呂など)、ライブラリーなど

〒939-1119 富山県高岡市オフィスパーク5番地
TEL.0766-62-0520 FAX.0766-62-0521
<http://www.suncenter.co.jp/takaoka/>

